

姉妹都市

— 世界をつなぐ笑顔と勇気 —

No.30
2024.12

サーモンアーム市長・稲敷市長 初会談

【令和6年11月28日開催】

サーモンアーム市のアラン・ハリソン市長と寛信太郎市長による会談がオンラインにより行われました。会談では、近年中止が続いている青少年交流事業等について話し合いが行われ、両市で課題を共有し、それぞれ交流事業の再開を目指していくことで意見が一致しました。また、今後も、より友好を深めていくことを約束し、終始和やかな雰囲気での会談となりました。



【オンライン会談モニターより】

右から 姉妹都市交流委員会 ジョンエ氏、ハリソン市長、教育委員会 コリン理事
(右上: 右から 寛市長、姉妹都市交流委員会 清水会長)

《サーモンアーム市との姉妹都市提携について》

旧東村において、サーモンアーム市に対して姉妹都市交流の申し出を行うことを決定し、1990年4月11日に姉妹都市提携が締結されました。

2005年3月の町村合併により姉妹都市交流は稲敷市に継承され、2006年3月27日に両市の間で姉妹都市提携の再調印がなされ、現在に至っています。

創刊 30号

広報「姉妹都市」は、おかげさまで第30号の発行を迎えました。
今後とも、広報「姉妹都市」をよろしくお願いいたします。

◎これまでの広報紙はこちらから☞

●稲敷市・稲敷市姉妹都市交流委員会●





— 広報「姉妹都市」 創刊 30 号を記念して —



サーモンアーム市交流委員会 Pam Chudiak

稲敷市姉妹都市交流委員会 顧問 吉田多嘉子

姉妹都市提携から34年が経過しましたが、これまでの交流に参加した何百人もの生徒たちのことを思い出します。派遣や受入の交流事業は、わずか1週間程度の期間ですが、お互いの家に迎えられたときの感動は忘れられないものであり、人生が変わる大きな体験となったことでしょう。私たちの交流は、幸運にも参加できた生徒だけではなく、その家族や友人たち、そして関係した人々にも大きな影響を与えたことを忘れてはなりません。誰にとっても素晴らしい体験として心に刻まれています。

コロナ禍以降、この交流が途絶えてしまい、私たちの友情を再構築するのに苦労していることをお詫び申し上げます。

私は約20年の間、この交流活動に微力ながら参加できたことを光栄に思っています。そして、生徒たちを温かく迎えていただいた稲敷市のご家族の皆様と、この素晴らしい活動にご尽力いただいた姉妹都市交流委員会の皆様に心より感謝を申し上げます。

皆さんにお会いすることができずとても寂しいですが、いつの日かまたお会いしましょう。



「村の青少年に国際感覚を」これは、およそ34年前、成毛平昌村長の悲願でありました。

時を同じくして、塾の英語教師として来日していたクリス氏の橋渡しによって、カナダのサーモンアームとの交流が実現しました。

初回の派遣では、村当局も戸惑い、引率者や生徒も暗中模索の状態でした。

「seeing is believing」を心に、前向きに訪問地で活動が始まると、その様子が広報「姉妹都市」に報じられました。すると、年が経過するごとに中学生・高校生の参加者が増えていき、サーモンアーム市から生徒たちを受け入れる時期には村中が活気で沸いていました。

私は生徒の引率として、サーモンアーム市へ3度訪れました。私の心配をよそに、生徒達が伸びやかに活動している姿にとっても安堵したのを覚えています。

当時、サーモンアーム市のメイ市長は野外で、スペンサー氏は広間で、私の家にホームステイをした16人を集めて「多嘉子パーティー」をしていただきました。言葉の壁を越えて楽しさを十分味わいました。

カナダでのホームステイは私の心の財産となっており、交流の復起を願っています。

副会長あいさつ

稲敷市姉妹都市交流委員会
副会長 矢崎克実



- 交流の再開を夢みて -

今年も、姉妹都市交流が出来ず残念でなりません。参加を希望する中学生や高校生等の皆さんに申し訳なく思います。これまで両市の架け橋となっていたたくさんの先輩から続けてほしいとの想いを聞くたびに、何とか交流を再開しなければならないという意識を強めているのは私ばかりではなく、多くの方々の願いでもあります。これからも交流が深まることを心より願っております。

FEEL CANADAを開催しました！



令和6年8月31日に中学生向けワークショップを開催しました。ワークショップでは、カナダ人講師のデボラさんからカナダやサーモンアーム市のお話などをいただき、参加生徒からは稲敷市周辺の観光地などを英語で紹介してもらいました。

カナダ産ポテトチップスの試食など、楽しみながら異文化交流できるワークショップとなりました。

— INFORMATION —

会員募集！あなたも国際交流しませんか？

稲敷市姉妹都市交流委員会

学生の方歓迎します！

稲敷市が実施する姉妹都市交流事業への協力や、各種事業の企画運営をしています。詳しくは、稲敷市ホームページをご覧ください。

年会費：一般 2,000 円、学生 無料
法人 10,000 円

稲敷市 姉妹都市交流 検索

問合せ・申込みは
『まちづくり推進課内事務局』まで
029-892-2000 (代)



編集後記

寒さが厳しい季節になりました。残暑から急に冬を迎えたようなそんな年でした。冬のあとに春が来る。そしてまた季節は巡ります。新型コロナウイルスという厳しい寒さに耐えて、工夫を重ねるからこそ、新たな春を迎え、次の季節に進んでゆけるのだと思います。両市の新たな交流のために、次のステップに進むときが来たのだと思います。

編集：稲敷市姉妹都市交流委員会広報委員

山本 彰治 (委員長)、倉田 九豪 (委員)、小貫 直美 (委員)
稲敷市まちづくり推進課